

### 3. くろかわ子ども食堂

記録：小瀧一誠

場 所：コープあいち黒川店 2階（名古屋市北区駒止町 2-18）  
対 象：幼児から高校生、高齢者の方 付き添いの大人の方大歓迎  
参 加 費：子ども～中学生 100 円、高校生以上 300 円  
代 表：中野 好子さん  
主 催：コープあいち  
初 回：2016 年 8 月 27 日（土）毎月第 4 土曜日

参加日時：①8 月 27 日（土）②9 月 24 日（土）③10 月 22 日（土）17：00～19：00  
（注文は 18：30 まで）

参加人数：親子連れ（未就学児は 15 名程度）

献 立：①すいとん、からあげ、ポテトサラダ、冬瓜のきんぴら、牛乳ゼリー、ご飯  
②かぼちゃのスープ、白身フライ、フルーツサラダ、煮物  
③かぼちゃのシチュー他

参 加 者：①川野優月、山田美緒  
②小瀧一誠、星大輝  
③星大輝

くろかわこども食堂が目指すこと

「子ども一人でも入れる食堂」

- ・一人でも食べるよりみんなと食べよう
- ・子どもが安心して集える場所をつくる
- ・信頼できる大人が身近にいる
- ・バランスの良い食事の提供
- ・食育も視野に入れて、生協らしい子ども食堂を追求する

「誰でも利用できます」

- ・子どもやおとな・高齢者の方がふれあい、おしゃべりできるコミュニケーションの場

◎きっかけ

子ども達をとりまく状況を学習しながら、食をつかさどる生協らしい子ども食堂を開きたいという思いから開催をした。

◎ボランティア

住みよい街づくりネットワークというボランティア団体などから、地域をよくしようとする人々を集め、活動している。東北支援にも行っており、いろいろなグループと集まって活動を開始した。

#### ◎資金

助成金はコープあいち福祉基金の10万円のみ。あとはカンパと参加費で賄っている。

#### ◎食材、献立

生協から見切り品や袋に穴の開いた米などを安く譲り受け、利用している。食材にこだわり、季節感がでるメニューを心掛けている。アレルギー対策も行っている。

#### ◎来店者

幼児+親での参加が多い。近くの保育園に通っている家族が良く利用してくれている。子どもだけの参加や小学生以上の参加は少ない。

#### ◎宣伝

近くの小学校が一斉下校の日に門前でチラシ配布や、町内会に頼んで回覧板にチラシを挟むなどしている。

#### ◎課題、悩み

駐車場、会場が狭い。参加人数が分からないため、毎回何食分用意すればいいか分からない。子どもの貧困を考えながら子ども食堂を開いたが、小学生以上の参加が少ないため、今後増やしていきたいと考えている。また、雨の日の参加が少ないため、対策を考える必要がある。

#### ◎感想

参加当日は17時からオープンで、ボランティアの方が作ってくれた食事が並べられていた。会場に入った瞬間から快く受け入れてくれた。18時くらいに子供連れの親子が来店し、食事をしていった。ボランティアの方は、まるで自分たちの子どものように子どもと接しており、すごく暖かい雰囲気だった。今回子ども食堂に参加して、話を聞かせていただいて、ボランティアは人や企業の協力なしには成立しないことであると改めて感じた。くろかわ子ども食堂では、コープあいちの協力なしでは成り立つことはできないのではないかと感じた。コープあいちの方の話を聞くと、子ども食堂のPRもあったが、コープあいちのイベントの宣伝がメインでお話をされており、コープあいち側の立場で考えると、子ども食堂を利用してコープあいちのPRをしているのではないかと感じた。

◎写真

